

このたびは、シチズンウォッチをお買上げ戴きましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡又は重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

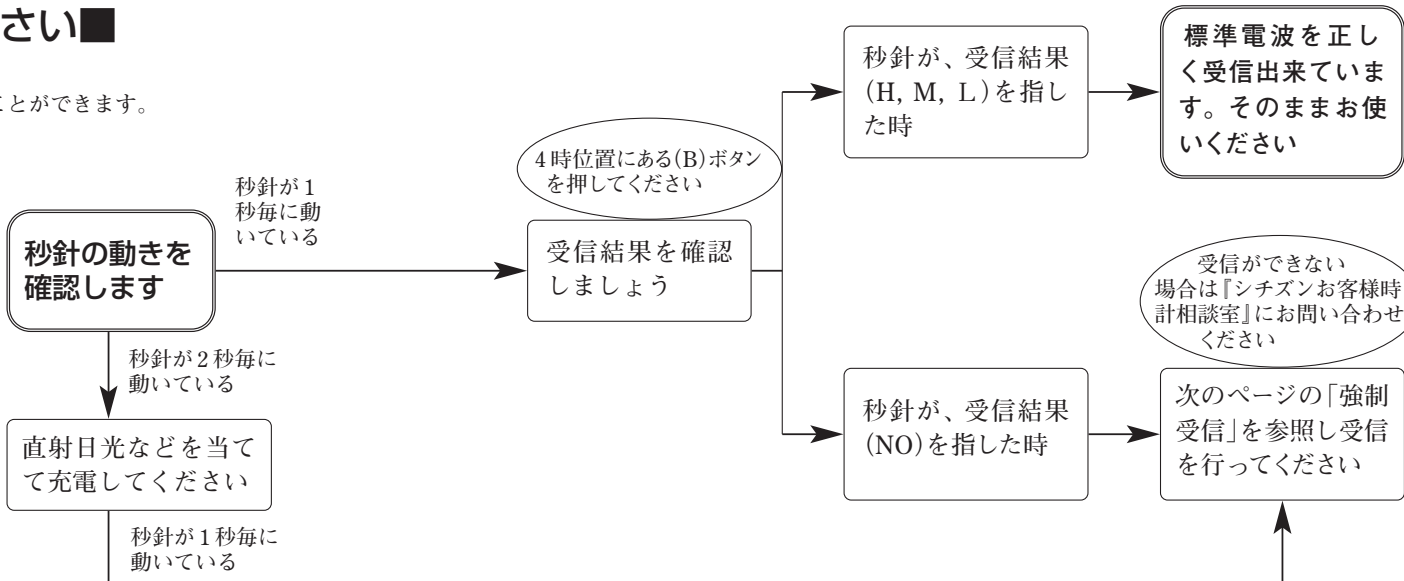
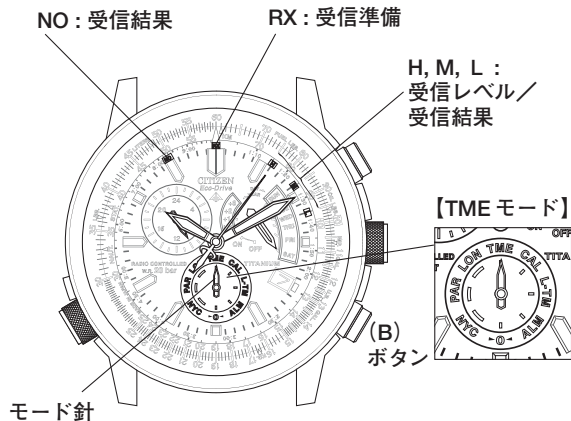
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■ご使用になる前にお確かめください■

※モード針を TME モードにしてください。
 (りゅうずを1段引いて回転させるとモードを切り替えることができます。
 切り替え後はりゅうずを元の位置に戻してください。)



■受信の仕方について覚えてください■

- ・「時刻モード」(TME)と「ローカルタイムモード」(L-TM)で電波を受信します。それ以外のモードでは受信出来ません。

定時受信

毎日午前2時または4時に、自動的に電波を受信し時刻やカレンダーを合わせます。

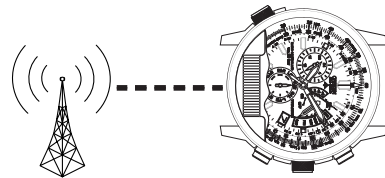
(午前2時に受信した場合は午前4時の受信は行いません)

強制受信

いつでも受信できます。受信環境等が変わり、定時受信等ができなかった場合に行ってください。強制受信中は電波を確実に受信させるため時計を動かさないでください。(最大で約15分お待ちいただく場合があります。)

《受信の方法》

時計を腕から外して、6時位置を電波送信所の方に向け、窓際等の電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。



- ・強制受信の場合は4時位置にある(B)ボタンを約2秒以上押し、確認音の後、秒針がRX／受信準備(12時)に移動し始めたら指を離してください。
- ・定時受信の時は(B)ボタンの操作は必要ありません。
- ・日の出、日の入り前後は電波を受信しにくい場合があります。この時間帯を避けて受信を行ってください。
詳しい受信の仕方は「4. 電波受信について」をご参照ください。

《受信結果の確認》

正しく受信したかどうかは、受信後、4時位置にある(B)ボタンを押し受信結果を確認してください。秒針が「H, MまたはL」を指した場合は、受信が正しくできたことをお知らせしています。そのままご使用ください。
秒針が「NO」を指した場合は、受信ができなかったことをお知らせしています。

■パワーセーブ機能とは■

携帯中や保管中等、30分以上時計に光が当たらない場合、秒針が12時で停止します。

- ・その他の各針は正しく運針しています。
- ・パワーセーブ状態でも定時受信が行われ、正確な時刻が維持されます。保管環境によっては定時受信はできません。この場合、月差±15秒の時間精度となります。
- ・光を当てるとパワーセーブが解除し、秒針は通常に動きます。

*パワーセーブについては、本文の「13. A. パワーセーブ機能について」をご参照ください。

目次

| | |
|---------------------|----|
| 1. 商品の特徴 | 11 |
| 2. りゅうずの操作方法 | 12 |
| 3. ご使用になる前に | 13 |
| A. 電波受信機能について | 13 |
| 〈上手に受信をするために〉 | |
| 〈受信が困難な場所について〉 | |
| 4. 電波受信について | 15 |
| A. 受信中の秒針の位置 | 17 |
| B. 受信結果の確認方法 | 18 |
| C. 受信レベルと受信結果 | 19 |
| D. 受信可能地域の目安 | 20 |

| | |
|------------------------------|----|
| 5. モード針に対する各機能一覧 | 22 |
| 6. モードの切り替え方法 | 26 |
| 7. ローカルタイムの合わせ方 | 28 |
| 8. アラームの使い方 | 30 |
| 9. 3都市時刻表示モードの使い方 | 32 |
| A. 3都市時刻モードの使い方 | 32 |
| B. サマータイムの設定の仕方 | 33 |
| 10. 手動による時刻、カレンダーの合わせ方 | 34 |
| A. 時刻の合わせ方 | 34 |
| B. カレンダーの合わせ方 | 36 |
| 11. 基準位置確認と修正方法 | 40 |
| A. 基準位置の確認方法 | 40 |
| B. 基準位置の修正方法 | 42 |

| | |
|--------------------------------|----|
| 12. 光発電機能について | 45 |
| 〈この時計の上手な使い方〉 | |
| 〈時計は常に充電を心掛けてお使いください〉 | |
| 13. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について | 46 |
| A. パワーセーブ機能について | 48 |
| 〈パワーセーブ〉 | |
| 〈パワーセーブの解除方法〉 | |
| B. 充電警告機能 | 49 |
| C. 過充電防止機能 | 49 |
| 14. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安 | 50 |
| 15. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意 | 52 |
| 充電上の注意 | |
| 二次電池の取り扱いについて | |
| 二次電池の交換について | |

| | |
|---------------------------|----|
| 16. 故障かな?と思ったら | 54 |
| 17. 回転リングの使い方 | 55 |
| 18. お取り扱いに当たって | 67 |
| 19. 保証とアフターサービスについて | 76 |
| 20. 製品仕様 | 78 |
| 21. お問い合わせ窓口 | 80 |

1. 商品の特徴

この時計は、福島と九州の電波送信所から送信される標準電波（時刻情報）を自動的に選んで受信し、時刻・カレンダーを自動修正する電波時計です。また、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる光発電機能を持ったエコドライブ電波時計です。さらに下記のような特徴があります。

① ローカルタイム機能

- ・ 1時間単位で修正できます。
- ・ 他の都市の時刻に設定できます。

② アラーム機能

- ・ 24時間制でアラーム時刻がセットできます。
- ・ 設定された時刻になるとアラームが15秒間鳴ります。

③ 3都市時刻表示機能(3都市では電波受信できません)

- ・ ニューヨーク、パリ又は、ロンドンの時刻を表示します。
- ・ サマータイムの切り替えができます。

④ フルオートカレンダー機能

- ・ 電波を受信しない場合でも2100年2月28日までカレンダー(経年、月、日、曜)の修正は必要ありません。

2. りゅうずの操作方法

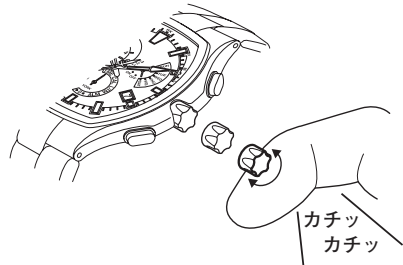
〈ねじロック式りゅうずの場合〉

りゅうずがねじロック式りゅうずの場合は、りゅうずを左に回してねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたらりゅうずを通常位置に戻した後、りゅうずを押しながら右に回してねじをきちんと締めてください。

ねじ締めが不十分だとりゅうず曲がりや時間違い、防水不良等の原因となりますので充分ご注意ください。

〈針を連続運針させるには〉

りゅうずを右または左に素早く連続回転(2クリック)すると、針(時針、分針または秒針)が右または左に連続で動きます。止める場合はりゅうずを右または左に1クリックします。



りゅうずを指の側面で素早く連続回転(2クリック)させてください

3. ご使用になる前に

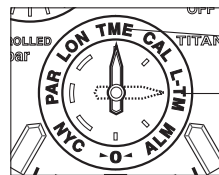
A. 電波受信機能について

〈上手に受信をするために〉

この時計は、時計内部(6時位置)に、電波受信用のアンテナが組込まれています。上手に受信するためには、時計の6時位置を電波送信所の方向に向けて受信することをお勧めします。使用環境によって受信レベルが変わります。時計の受信レベル「H, M, L」を参考に、何度か時計の向きや場所を変えて受信を行い、受信レベルが「H」か「M」を指す受信しやすい場所及び、方向を探してください。

【注意】

受信可能なモードは「時刻モード」(TME)と「ローカルタイムモード」(L-TM)です。それ以外のモードでは受信出来ませんのでご注意ください。



時刻モード (TME)

ローカルタイムモード (L-TM)

- ・安定した受信をするために、時計を腕から外して、窓際等の電波を受信しやすい安定した場所に置いてください。受信中は時計を動かさないでください。
- ・電波は、金属のしゃへい物や環境により受信しにくいことがあります。建物内などでは、できるだけ窓の近くで受信してください。
- ・2ヶ所の電波送信所(福島局と九州局)からの距離に差がない中部地方や、東海地方においては、受信局が自動的に切り替わり、通常より受信時間が長くなることがあります。

〈受信が困難な場所について〉

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、電波の届きにくい環境条件下では、電波を正確に受信できないことがあります。

- (1) 極端に高温や低温の場所。
- (2) 鉄筋コンクリート建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下。
- (3) 車、電車、飛行機の中。
- (4) 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く。
- (5) 通話中の携帯電話の近く。
- (6) テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。

4. 電波受信について

電波受信には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。電波を正しく受信すると自動的に時刻、カレンダーが修正されます。

受信が完了すると、各針は受信した時刻へ、正転または、逆転で移動します。

【注意】受信が終わるまで時計を動かさないでください。

1. 定時受信

- ・毎日午前2時または4時に、自動的に受信を始めます。

(午前2時に受信した場合は午前4時の受信は行いません)

- (1) 受信する際は時計を腕から外して、6時位置を電波送信所の方に向け、窓際等の電波を受信し易い安定した場所に置いて受信してください。
- (2) 秒針が「RX：受信準備」に移動した後(1分以内)受信中を示す「H, MまたはL」に移動し受信を始めます。
- (3) 受信が完了すると、秒針が「H, M, またはL」から自動的に正しい時刻に移行します。

2. 強制受信

・いつでも受信することができます。

- (1) 受信する際は時計を腕から外して、6時位置を電波送信所の方に向け、窓際等の電波を受信し易い安定した場所に置いて受信してください。
- (2) 4時位置にある(B)ボタンを約2秒以上押し、確認音の後、秒針が「RX：受信準備(12時)」に移動したことを確認し指を離します。
その後は1. 定時受信(前ページ)の(2)、(3)と同じ操作方法です。

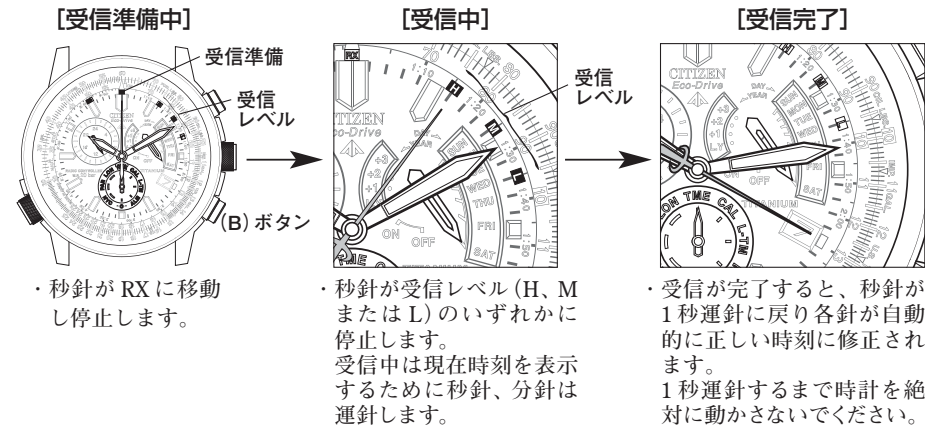
3. 復活自動受信

・充電不足で時計が止まった場合は、1度だけ自動的に受信を行います。
ただし、復活自動受信させる為には日光下で約30分充電を行ってください。
この状態にならない様、常に充電を心掛けてご使用ください。

〈受信に要する時間〉

受信にかかる時間は、約2～13分です。但し、受信中に受信局の自動切り替えが行われると、最大約15分かかります。受信環境が悪く受信出来なかった場合は、約60秒で通常表示に戻ることがあります。

A. 受信中の秒針の位置 (受信開始から完了までの秒針の動き)



B. 受信結果の確認方法

- ・(B) ボタンを1回押すと、秒針が「H、M、Lまたは、NO」へ移動し受信結果が確認できます。

【注意】(B) ボタンを2秒以上押し続けると、秒針が12時(RX)に移動し強制受信を開始しますので2秒以上押さないでください。

- ・受信結果は10秒間表示し、自動的に現在時刻に戻ります。または表示中、(B) ボタンを押すと現在時刻に戻ります。

《強制受信の終了音》

- ・受信に成功すると、ピッピッ! と音が2回鳴り、正しい時刻に修正されます。
- ・受信に失敗すると、ピッ! と音が1回鳴り、受信する前の時刻表示に戻ります。

C. 受信レベルと受信結果

- ・電波受信中は、受信状況に対応した受信位置に秒針が待機して、受信レベルを表示します。受信後は(B) ボタンを1回押すと、受信結果が確認できます。

| 受信レベル | 秒針の位置 | 受信中の受信レベル | 受信後の受信結果 |
|-------|-------|------------------|---------------------|
| H | 6秒位置 | 電波の受信環境が非常に良い状態 | 受信環境が非常に良い状態で受信した時 |
| M | 9秒位置 | 電波の受信環境が良い状態 | 受信環境が良い状態で受信した時 |
| L | 12秒位置 | 電波の受信環境がやや良くない状態 | 受信環境がやや良くない状態で受信した時 |
| NO | 55秒位置 | ————— | 受信に失敗した時 |

D. 受信可能地域の目安

この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。ただし、時間帯や季節、天候などにより、電波状況が変化し受信可能地域が変化する場合があります。

受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

| 電波送信所 | 標準電波 | 送信所所在地 |
|-------------------------|-----------------|-----------------------------|
| おおたかどや山標準電波送信所 (福島局) | JJY (長波標準電波) | 福島県田村郡都路村／双葉郡川内村境界大鷹鳥谷山山頂付近 |
| はがね山標準電波送信所 (九州局) | JJY (長波標準電波) | 佐賀県富士町／福岡県前原市境界羽金山山頂付近 |

電波時計で利用している標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断される事があります。

標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。標準電波の送信状態の確認は、弊社ホームページまたは、シチズンお客様時計相談室にお問い合わせください。



5. モード針に対する各機能一覧表

巻頭の時計イラストと合わせてお読みください。

| 名称/モード | りゅうず位置 | TME | CAL | L-TM |
|--------|--------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 機能針 | 通常位置 | 曜表示 | 曜表示 | 曜表示 |
| | 1段引き | | 閏年表示 | |
| | 2段引き | | | |
| 日付 | 通常位置 | 日表示 | 日表示 | 日表示 |
| | 1段引き | | | |
| | 2段引き | | | |
| 時針/分針 | 通常位置 | 時/分表示 | 時/分表示 | ローカルタイム 時/分表示 |
| | 1段引き | | | |
| | 2段引き | | | |
| 秒針 | 通常位置 | 秒表示 | 月表示 | 秒表示 |
| | 1段引き | モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) |
| | 2段引き | 秒表示 | 月表示 | 秒表示 |
| 24時間針 | 通常位置 | 時刻表示 (24時間制) | 時刻表示 (24時間制) | 時刻表示 (24時間制) |
| | 1段引き | | | |
| | 2段引き | | | |

| ALM | ▶0◀ | NEW YORK | PARIS | LONDON |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ON/OFF表示 | OFF表示 | ニューヨーク 曜表示 | パリ 曜表示 | ロンドン 曜表示 |
| | | サマータイムON/OFF表示 | サマータイムON/OFF表示 | サマータイムON/OFF表示 |
| 日表示 | 31/1表示 | ニューヨーク 日表示 | パリ 日表示 | ロンドン 日表示 |
| アラーム 時/分表示 | 12時で停止 | ニューヨーク 時/分表示 | パリ 時/分表示 | ロンドン 時/分表示 |
| 12時で停止 | 12時で停止 | 秒表示 | 秒表示 | 秒表示 |
| モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) | モード切り替え (30秒位置に停止) |
| 12時で停止 | 12時で停止 | 秒表示 | 秒表示 | 秒表示 |
| アラーム時刻表示 (24時間制) | 24時で停止 | ニューヨーク時刻 表示(24時間制) | パリ時刻表示 (24時間制) | ロンドン時刻表示 (24時間制) |

| 名称/モード | りゅうず位置 | TME | CAL | L-TM |
|---------|--------|------------|--------------------------|-----------|
| (A) ボタン | 通常位置 | 切り替え無し | 閏年表示 | 切り替え無し |
| | 1段引き | | 月表示 | |
| | 2段引き | | 秒針12時位置に帰零 カレンダーモード修正 | |
| (B) ボタン | 通常位置 | 受信結果/受信準備 | 切り替え無し | 受信結果/受信準備 |
| | 1段引き | 切り替え無し | | 切り替え無し |
| | 2段引き | 秒針12時位置に帰零 | | 切り替え無し |
| りゅうず | 通常位置 | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し |
| | 1段引き | モード切り替え | モード切り替え | モード切り替え |
| | 2段引き | 時刻修正 | カレンダー修正 | ローカルタイム修正 |

| ALM | ▶0◀ | NEW YORK | PARIS | LONDON |
|-------------|---------|---------------------|---------------------|---------------------|
| アラーム ON/OFF | 切り替え無し | サマータイム ON/OFF 確認 | サマータイム ON/OFF 確認 | サマータイム ON/OFF 確認 |
| | 基準位置修正 | サマータイム切り替え | サマータイム切り替え | サマータイム切り替え |
| サウンドモニター | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し |
| 切り替え無し | | | | |
| 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し |
| モード切り替え | モード切り替え | モード切り替え | モード切り替え | モード切り替え |
| アラーム時刻修正 | 基準位置修正 | 切り替え無し | 切り替え無し | 切り替え無し |

6. モードの切り替え方法

・この時計は「時刻」「カレンダー」「ローカルタイム」「アラーム」「基準位置」「ニューヨーク時刻」「パリ時刻」「ロンドン時刻」の8つのモードを持っています。

《切り替え操作の手順》

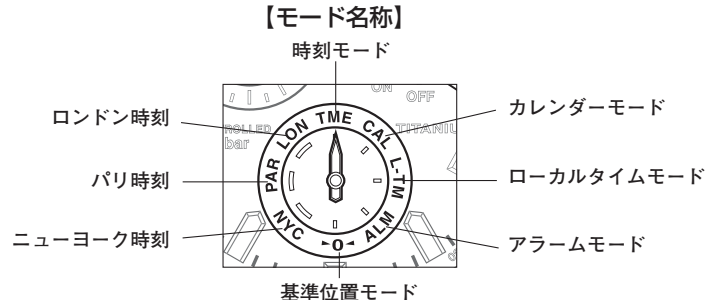
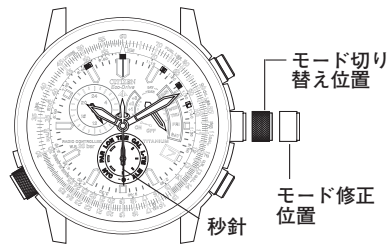
モード切り替えはりゅうずを1段引き位置(モード切り替え位置)にすると、秒針が正転(時計回り)で30秒位置に移動し停止します。秒針が30秒位置に停止しない場合は「基準位置確認と修正方法」を参照し、「基準位置修正」を行ってください。

(1) りゅうずを回して、モード針を各モードに合わせます。

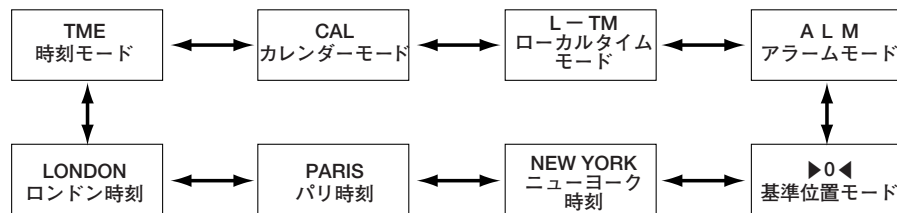
・りゅうずは右回り、または左回りどちらでも合わせることができます。モード針が移動して各モードを選択できます。

(2) 更にりゅうずを2段引き位置(モード修正位置)にすると各モードの修正状態になります。

・各モードの修正についてはそれぞれのモードの修正手順をお読みください。



【モードの切り替え】



7. ローカルタイムの合わせ方

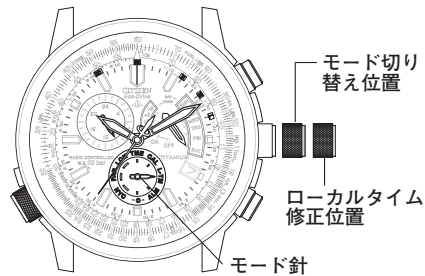
- ・ローカルタイムは時刻モード(TME)とは別に他の地域の時刻をセットできる機能です。
- ・時刻修正(時差)は1時間単位で調整できます。
- ・セット時間の範囲は時刻(TME)を基準に「+3時間から-20時間」の間で設定できます。

【注意】 セット時間の範囲を越えてセットした場合、正確な設定時間を示しません。

《ローカルタイムの修正手順》

りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「L-TM」(ローカルタイム)に合わせます。

- (1)りゅうずを2段引き位置(ローカルタイム修正位置)にします。
 - ・秒針が連続回転後、現在時刻まで早送りされ1秒運針します。



(2)りゅうずを回して時針を「ローカルタイムの時刻」に合わせます。

- ①右に回す(1クリック)と時分針と24時間針が1時間進みます。
- ②左に回す(1クリック)と時分針と24時間針が1時間戻ります。
 - ・りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、時分針と24時間針が連続運針します。
 - ・連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - ・カレンダーもローカルタイムに合った日付、曜日に変更されます。

【注意】 24時間針で午前、午後を確認しながら正しくローカルタイムを合わせてください。

(3)りゅうずを通常位置に戻します。これで修正は完了です。

- ・カレンダーがローカルタイムに合った日付、曜日に変更されます。

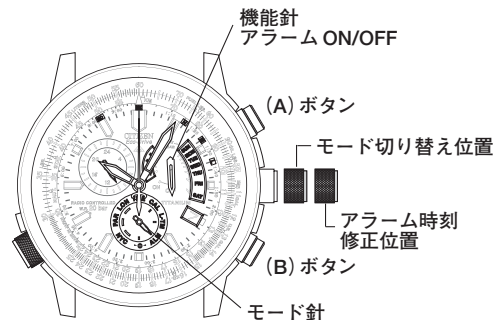
8. アラームの使い方

- ・アラームは24時間制で一度セットすると1日1回、アラーム音が15秒間鳴ります。
- ・アラームは時刻モードの他に「ローカルタイム」、「ニューヨーク」、「パリ」、「ロンドン」の各モードで使用できます。その他のモードではアラームは鳴りません。尚、アラーム音を15秒以内に停止させる場合、(A)または(B)ボタンを押してください。

《アラーム時刻の合わせ方》

りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「ALM」(アラーム)に合わせます。

- ・時分針及び機能針は前回のアラームセット時刻状態を示します。
- (1)りゅうずを2段引き位置(アラーム時刻修正位置)にすると秒針が0秒位置で停止します。



- ・(A)ボタンを押して機能針をアラーム「ON」にします。
- ・(A)ボタンを押す毎に確認音が鳴り「ON」、「OFF」が切り替わります。

(2) 24時間針にて午前、午後を必ず確認しながらりゅうずを回して正しくアラーム時刻を合わせてください。

①右に回す(1クリック)と分針、時針が1分進みます。

②左に回す(1クリック)と分針、時針が1分戻ります。

- ・りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、時針と分針が連続運針します。

- ・連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

(3)りゅうずを1段引き位置にして前回の使用状態にモードを戻してください。

(4)りゅうずを通常位置に戻します。これで操作は完了です。

9. 3 都市時刻表示モードの使い方

- ・ニューヨーク、パリ、ロンドン3都市の時刻を表示します。尚、サマータイムの切り替えができます。
- ・各都市の時刻は時刻モード(TME)を基準に表示します。

日本時間との時差

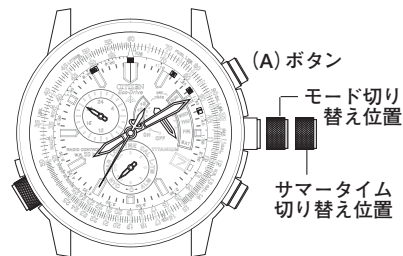
| | |
|--------|-------|
| ニューヨーク | -14時間 |
| パリ | -8時間 |
| ロンドン | -9時間 |

A. 3都市時刻モードの使い方

- ・3都市の表示方法は同じです。ここでは、ニューヨークを例に説明します。

〈ニューヨーク時刻の表示方法〉

りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「NEW YORK」(ニューヨーク)に合わせ、りゅうずを通常位置に戻すだけで簡単にニューヨーク時刻に合わせることができます。



B. サマータイムの設定の仕方

既にニューヨーク時刻で使用している時に、サマータイムを設定する場合は、

(1) りゅうずを2段引き位置にします。

- ・秒針がデモンストレーション(回転運動)運針後、ニューヨーク時刻を表示します。

機能針は「OFF」に移動して停止します。

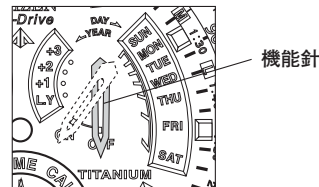
(2) (A) ボタンを押してサマータイムの設定を切り替えます。

- ・(A) ボタンを押す毎に確認音が鳴り、サマータイムのON、OFFが選択できます。

ONにした場合、時刻が1時間進みます。

(3) りゅうずを通常位置に戻します。これで設定は完了です。

【サマータイム ON/OFF 設定】



10. 手動による時刻、カレンダーの合わせ方

A. 時刻の合わせ方

- この時計は電波受信が出来ない場合に、手操作で時刻やカレンダーを合わせることができます。尚、正しく操作するためには、時計を腕からはずして行ってください。

【通常運針】

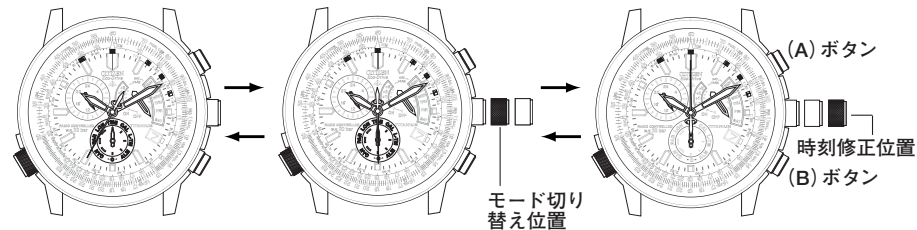
りゅうず通常位置

【モード修正】

りゅうず1段引き位置

【時刻修正】

りゅうず2段引き位置



《時刻の修正手順》

りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「TME」(時刻)に合わせます。

- りゅうずを2段引き位置(時刻修正位置)にします。
 - 秒針は連続回転して1秒運針で現在時刻を示します。
- 秒針が1秒運針になった状態で(A)または(B)ボタンを1回押します。
 - 1回押すと秒針が正転(時計回り)で0秒位置まで移動し、停止します。
- りゅうずを回して「分針」、「時針」、「24時間針」を現在時刻に合わせます。
 - 右に回す(1クリック)と分針、時針、24時間針が1分ぶん進みます。
 - 左に回す(1クリック)と分針、時針、24時間針が1分ぶん戻ります。
 - りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、分針、時針、24時間針が連続運針します。
 - 連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - 時刻合わせの時は、24時間針にて午前、午後を確認しながら正しく合わせてください。
- 時報(TEL. 117)などに合わせて、りゅうずを通常位置に戻します。

これで修正は完了です。

B. カレンダーの合わせ方

・一度合わせると、2100年2月28日まで自動的に年、月、日付、曜日が切り替わるフルオートカレンダーです。

《カレンダーの修正手順》

りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「CAL」(カレンダー)に合わせます。

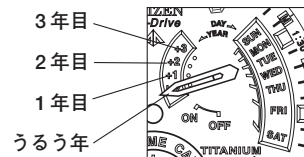
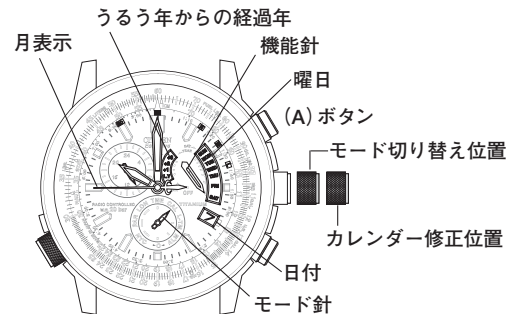
(1) りゅうずを2段引き位置(カレンダー修正位置)にします。

・秒針が月表示位置に、機能針がうるう年からの経過年位置に移動して停止し、「うるう年からの経過年」の修正状態になります。

(2) りゅうずを回して機能針の「年」を合わせます。

① 右に回す(1クリック)毎に『L.Y.(うるう年) → +1 → +2 → +3 → L.Y. . . .』と切り替わります。

② 左に回す(1クリック)毎に『L.Y.(うるう年) → +3 → +2 → +1 → L.Y. . . .』と逆に切り替わります。



(3) (A) ボタンを押します。

- ・秒針が1回転して「月」の修正状態になります。
- ・りゅうずを右に回す(1クリック)毎に秒針が次の月に進みます。
- ・月の修正はりゅうずの右回しのみで左回しでの修正はできません。

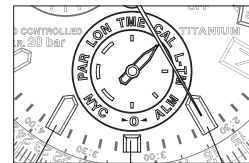
【月の読み取り方】

秒針が指している目盛りで各月を読み取ってください。1時が1月、2時が2月 . . . 11時が11月、12時が12月に対応しています。

【うるう年からの経過年早見表】

| 年 | 経過年 | 表示 | 年 | 経過年 | 表示 |
|-------|------|------|-------|------|------|
| 2004年 | うるう年 | L.Y. | 2008年 | うるう年 | L.Y. |
| 2005年 | 1年目 | +1 | 2009年 | 1年目 | +1 |
| 2006年 | 2年目 | +2 | 2010年 | 2年目 | +2 |
| 2007年 | 3年目 | +3 | 2011年 | 3年目 | +3 |

【月表示の見方】



7月 6月 5月
(5時が5月を表示しています)

(4) (A) ボタンを押します。

- ・機能針がうるう年からの経過年位置から曜日位置に移動して「日付」の修正状態になります。

(5) りゅうずを回して「日付」を合わせます。

① 右に回す(1クリック)と機能針が正転で5回転し日付が1日進みます。

② 左に回す(1クリック)と機能針が逆転で5回転し日付が1日戻ります。

- ・りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、日付の連続修正ができます。
- ・連続修正を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

(6) (A) ボタンを押します。

- ・機能針がデモンストレーション(往復運動)運針後、曜日位置に停止して「曜日」の修正状態になります。

(7) りゅうずを回して「曜日」を合わせます。

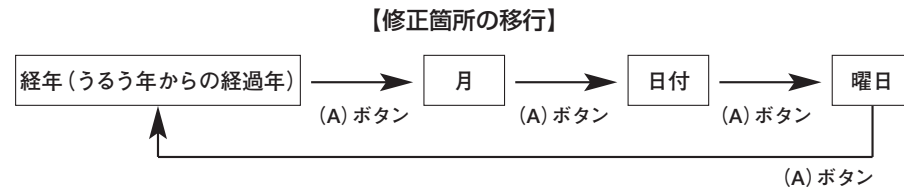
① 右に回す(1クリック)と機能針が『SUN → MON → … FRI → SAT』と切り替わります。

② 左に回す(1クリック)と機能針が『SUN → SAT → … TUE → MON』と逆に切り替わります。

(8) りゅうずを通常位置に戻します。これで修正は完了です。

〈修正箇所の移行〉

(A) ボタンを押す毎に「うるう年からの経過年」→「月」→「日付」→「曜日」の順で繰り返し修正箇所が替わります。



〈実際に存在しない月日に合わせた場合〉

カレンダー修正状態からりゅうずを通常位置に戻すと自動的に翌月の1日になります。

誤って存続しない月日に合わせた場合は、次の月になります。

| | | |
|-------------------|---|------|
| 例：平年2月29日、30日、31日 | → | 3月1日 |
| 4月31日 | → | 5月1日 |
| うるう年 2月30日、31日 | → | 3月1日 |

11. 基準位置確認と修正方法

外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。ずれた状態で使用されると、時刻やカレンダー、アラーム等が正しく機能しません。この状態の場合は、基準位置を確認し、修正してください。

A. 基準位置の確認方法

(1) りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「▶0◀」(基準位置)に合わせます。

- ・秒針は正転(時計回り)で30秒位置に移動します。
- ・24時間針、時針及び分針は正転(時計回り)又は逆転(反時計回り)で基準位置(12時)に移動し停止します。
- ・機能針は「OFF」に移動し、日付は「31」と「1」の中間を表示して停止します。

(2) りゅうずを通常位置に戻します。

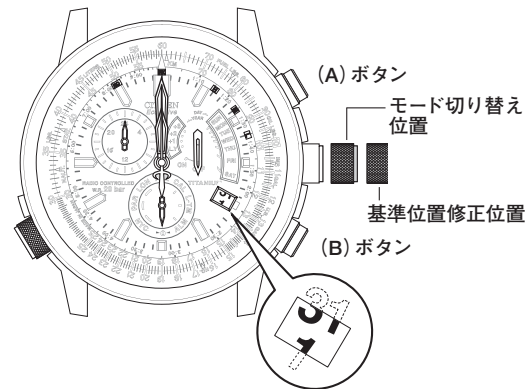
- ・秒針が基準位置(12時位置)に移動し停止します。

上記通りに正しく示した場合は、りゅうずを1段引き位置にして前回の使用モードに戻してください。

〈各針の基準位置〉

- ・24時間針 : 24時00分
- ・時針、分針 : 00時00分
- ・秒針 : 0秒
- ・機能針 : OFF
- ・日付 : 31日と1日の中間位置

【各針の正しい基準位置】

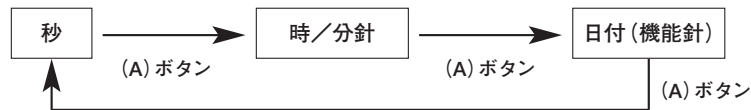


※上記以外を示した場合は、次の「基準位置修正」を行ってください。

B. 基準位置の修正方法

- 修正は(A)ボタンを押す毎に「秒」→「時/分針」→「日付(機能針が回転運針)」の順で繰り返し修正箇所が替わります。

【修正箇所の移行】



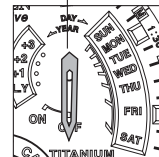
りゅうずを1段引き位置にして回転させ、モード針を「▶0◀」(基準位置)に合わせ更にりゅうずを2段引き位置にすると秒針が正転でデモンストレーション(回転運動)運針後停止し、基準位置修正状態に入ります。

- りゅうずを回して、秒針を基準位置に合わせます。
 - 右に回す(1クリック)と秒針が正転で1秒進みます。
 - りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、秒針は連続運針します。
 - 連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

【注意】 秒針は逆回転(反時計回り)では修正できません。

- (A)ボタンを押します。
 - 時分針がデモンストレーション(往復運動)運針後、時針と分針の修正状態に入ります。
- りゅうずを回して、時針と分針を「00時00分」に合わせ、24時間針は、時針に連動していますので24時(午前0時)に合わせてください。
 - 右に回す(1クリック)と時針と分針が1/4分進みます。(4クリックで1分ぶん進みます)
 - 左に回す(1クリック)と時針と分針が1/4分戻ります。(4クリックで1分ぶん戻ります)
 - りゅうずを連続回転(素早く2クリック以上)させると、時針と分針が連続運針します。
 - 連続運針を停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
- (A)ボタンを押します。
 - 機能針がデモンストレーション(往復運動)運針後、日付の修正状態に入ります。
- りゅうずを回して、機能針を回転させ日付を「31」と「1」の中間に合わせた後、機能針を「OFF」の位置に合わせます。

機能針が5回転すると日付が1日切り替わります

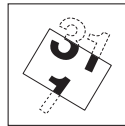


- ①りゅうずを右に連続回転(素早く2クリック以上)させます。
・機能針が正転で5回転し、日付が1日切り替わります。
- ②日付が『31』になるまで機能針を連続運針させます。
- ③日付が『31』に切り替わったところでりゅうずを1クリック左右どちらかに回して機能針を停止させます。
- ④りゅうずを1クリックずつ右に回しながら機能針を回転させ、日付が『31』から『1』の間になったことを確認した後、次に必ず機能針を「OFF」に合わせてください。

(6)りゅうずを通常位置に戻します。これで修正は完了です。

※基準位置合わせ後は、モードを「時刻モード」(TME)に合わせ、必ず強制受信を行い正しい時刻に合わせてからご使用ください。

【日付の位置】



12. 光発電機能について

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。一度フル充電すると、通常の使用状態(パワーセーブが作動しない時)では約6ヶ月間時刻を刻み続けます。なおパワーセーブが作動している時は、約1年間となります。

〈この時計の上手な使い方〉

この時計を快適にご使用頂くためには、常に余裕を持って充電することを心がけてください。充電は、文字板(ソーラーセル面)に直射日光や、蛍光灯の光を当てて充電してください。

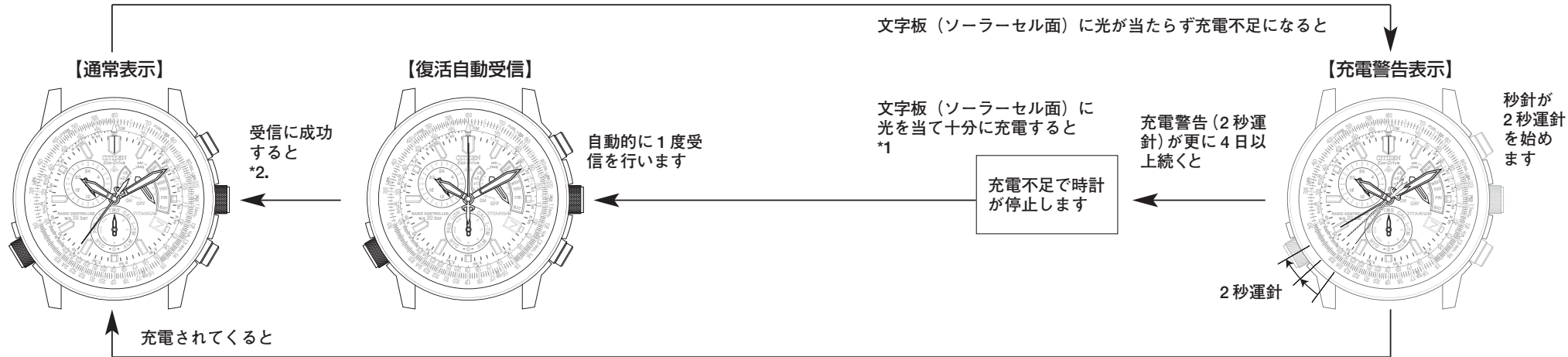
〈時計は常に充電を心掛けてお使いください〉

- ・日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。特に冬場は、充電に心掛けてください。
- ・時計を外したときも、できるだけ時計の文字板面に太陽光の当たる窓際等の明るい場所に置くように心掛けると、常に充電を続け時計は正しく動き続けます。

13. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。

- *1. 充電不足で停止した場合、十分光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約30分かかります。
- *2. 復活自動受信に失敗した場合は、充電不足で停止した時の時刻に戻り動き始めます。この場合は1秒運針していますが時刻が違っているため、強制受信または、手操作で時刻を合わせてからご使用ください。



A. パワーセーブ機能について

〈パワーセーブ〉

ソーラーセルに30分以上継続して光が当たらないと、秒針が12時位置で止まり、パワーセーブ(節電状態)になります。

- ・他の各針は通常運針しています。
- ・定時受信は、午前2時または4時に受信を行います。
- ・充電警告機能(2秒運針時)が作動中でも、光が当たらないとパワーセーブになります。

〈パワーセーブの解除方法〉

ソーラーセルに光を当てると、パワーセーブは自動的に解除されます。

- ・パワーセーブが解除されると秒針が正転または逆転で現在時刻に戻り、1秒運針を開始します。
- ・充電不足の場合は、2秒運針を始めます。充電し1秒運針に戻してください。

【注意】

- ・パワーセーブ作動中でも定時受信を行います。保管環境によっては、受信できない場合もあります。パワーセーブ解除後は、(B)ボタンを押して受信結果を確認してください。受信結果が「NO」の場合は、強制受信を行ってからご使用ください。

【パワーセーブ状態】



B. 充電警告機能

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わります。2秒運針を始めてから約4日以上経過すると、充電不足で時計は止まります。

【注意】 2秒運針している時

- (1) 定時受信、強制受信及び手動での時刻修正はできません。
- (2) 時刻モードのみ表示され、他のモードは使用できません。



C. 過充電防止機能

ソーラーセルに光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能等に影響を及ぼす事はありません。

14. ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

時計のモデル(文字板の色など)により充電時間は異なります。
あくまでも目安としてご利用ください。

* 充電時間は連続照射時間です。

| 照度 (ルクス) | 環 境 | 充電時間 | | |
|-------------|-------------------------|----------|---------------------------|--------|
| | | 1日分の充電時間 | 停止状態から 1秒運針する までの時間 | フル充電時間 |
| 500 | 屋内照明 | 4時間 | 45時間 | — |
| 1,000 | 蛍光灯(30W)の下60cm～ 70cm | 2時間 | 20時間 | — |
| 3,000 | 蛍光灯(30W)の下20cm | 40分 | 6.5時間 | 150時間 |
| 10,000 | 曇天 | 12分 | 2.5時間 | 45時間 |
| 100,000 | 夏の日の直射日光下 | 2分 | 45分 | 9時間 |

1日分の充電時間…時計を通常運針で1日動かすのに必要な充電時間。
フル充電時間………時計が充電不足で停止している状態から最大に充電される
までの充電時間。

【注意】

フル充電後、一度も充電されないと、持続時間は約6ヶ月となります。パワー
セーブが作動している時は、約1年間時刻を刻み続けます。ただし、充電不足
で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、
毎日の充電を心掛けてご使用ください。なお、月に一度は直射日光を当てて充
電されることをお勧めいたします。

15. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

注意 充電上の注意

- ・充電の際に時計が高温になると、外装部品の変色、変形及びムーブメント部品の故障等の原因となります。
- ・高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
例) ・白熱灯、ハロゲンランプ等、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
 - ・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
- ・白熱灯、ハロゲンランプ等、高温になりやすい光源で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

警告 二次電池の取り扱いについて

- ・お客様は時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。
やむを得ず電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

警告 二次電池の交換について

- ・二次電池の交換は不要ですが、まれに電池の不具合による充電不足が発生する場合があります。万一、不具合が生じた時は、速やかに修理依頼してください。

16. 故障かな?と思ったら

《電波受信機能》

故障かな?と思ったら、以下の項目をご確認ください。

| 状 況 | 確 認 | 対 処 方 法 |
|-----------------------|--|---|
| 受信を開始しない | <ul style="list-style-type: none"> ●モードはタイムモード(TME)又はローカルタイムモード(L-TM)になっていますか? ●秒針が「RX:受信準備」に移動しますか? | <ul style="list-style-type: none"> ●りゅうずを1段引き位置にし、りゅうずを回し、モードをタイムモード又は、ローカルタイムモードにしてください。 ●(B)ボタンを押し続け、秒針がRX位置を指したら、指を離してください。 |
| 受信できない。 (受信可能地域内で) | <ul style="list-style-type: none"> ●電波をしゃへいする物やノイズが発生する物が近くにありませんか? ●窓から遠い場所で受信していませんか? | <ul style="list-style-type: none"> ●電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の6時位置を窓際に向け受信してください。秒針が受信レベル位置を指すように、何度か場所や、方向、角度を変えて、受信しやすい場所を探してください。 (本書「上手に受信をするために」及び「受信が困難な場所について」を参照ください) |
| 秒針がRXを指すのに受信ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●まだ受信中で、秒針が受信レベル「H、M、Lのいずれか」を指していませんか? | <ul style="list-style-type: none"> ●受信が終了するまで(1秒運針に戻るまで)お待ちください。 |
| 受信はできるが、時報等の時刻と合わない。 | <ul style="list-style-type: none"> ●基準位置が正しくセットされていますか? | <ul style="list-style-type: none"> ●基準位置を確認してください 基準位置が正しく無い場合は、本書「基準位置の修正方法」を参照し合わせ直してください。 |

17. 回転リングの使い方

文字板外周の回転リングを使用して、飛行距離の計算や、一般的な計算などを行うことができます。ただし、この回転リングでは位取りまでは示されません。あくまでも目安としてご使用ください。

8時位置のりゅうずを回転させると、文字板外周の回転リング(外側スケール)が回転します。



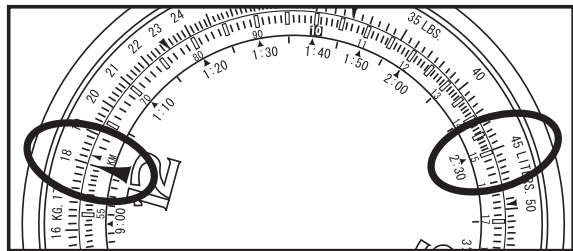
A. 航法計算機能

1. 所要時間の計算

例：速力 180kt の飛行機で距離 450 カイリを飛行するのに必要な時間は？

答：外周スケールの 18 を内側スケールの SPEED INDEX (▲) に合わせます。

この時、外側スケールの 45 に対応する内側のスケールの所の (2 : 30) が求められます。(2 時間 30 分)

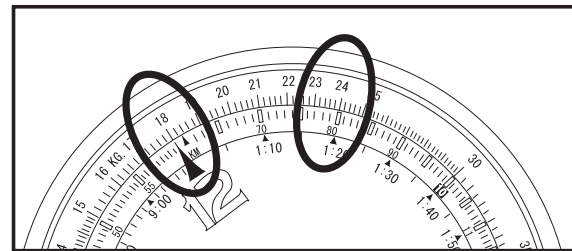


2. 時速 (対地速度) の計算

例：飛行距離 240 カイリ、所要時間 1 時間 20 分のときの時速 (対地速度) は？

答：内側スケールの 1 : 20 (80) に、外側スケールの 24 を合わせます。

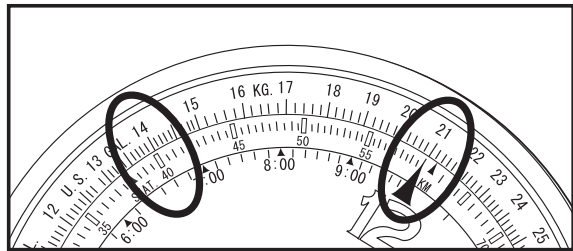
この時、内側スケールの SPEED INDEX (▲) に対応する 18 が求められます。(180Kt)



3. 飛行距離の計算

例：時速 210Kt、飛行時間 40 分の時の飛行距離は？

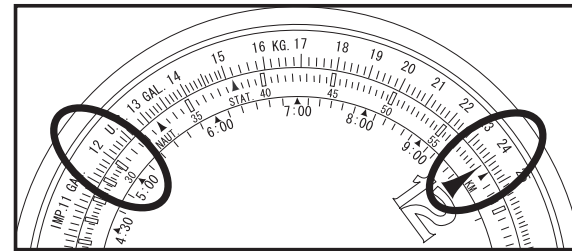
答：外側スケールの 21 を、内側スケールの SPEEDINDEX(▲)に合わせます。
内側スケールの 40 に対応する 14 が求められます。(140 カイリ)



4. 燃料消費率の計算

例：飛行時間 30 分、消費量 120 ガロンの時の消費率(ガロン/時)は？

答：外側スケールの 12 を、内側スケールの 30 に合わせます。
SPEED INDEX(▲)に対応する 24 が求められます。(240 ガロン/時)

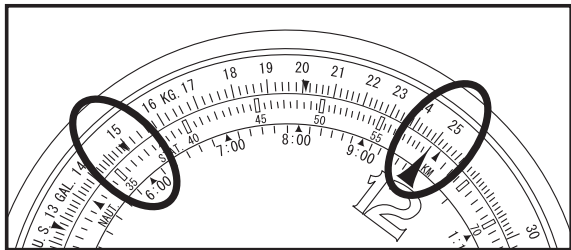


5. 燃料消費量の計算

例：消費率 250 ガロン／時、飛行時間 6 時間の時の所要燃料は？

答：外側スケールの 25 を、内側スケールの SPEED INDEX(▲)に合わせます。

この時、6：00 に対応する 15 が求められます。(1500 ガロン)



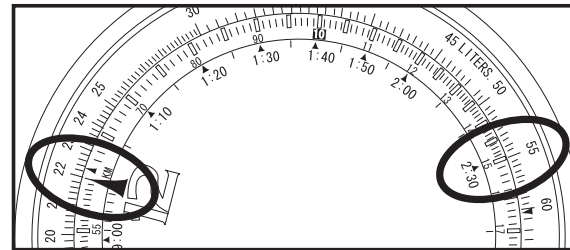
6. 飛行可能時間

例：消費率 220 ガロン／時、使用可能燃料 550 ガロンの時の飛行可能時間は？

答：外側スケールの 22 を内側スケールの SPEED INDEX(▲)に合わせる。

この時、外側スケールの 55 に対応する 2：30 が求められます。

(2 時間 30 分)

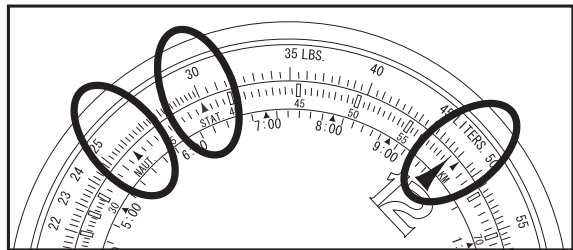


7. 換算

例：30 マイルに対するカイリおよびキロメートルを求める場合？

答：外側スケールの30を内側スケールのSTAT(▲)に合わせます。

この時、内側スケール NAUT(▲)に対応する26カイリおよび、内側スケールのキロメートル(▲)に対応する48.2キロメートルが求められます。

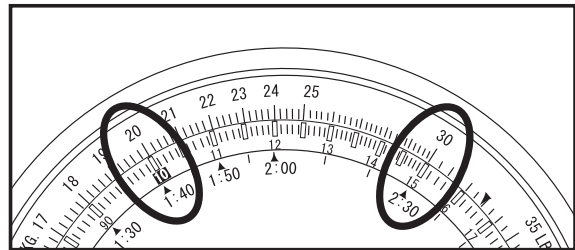


B. 一般計算機能

1. 掛算の仕方

例：20 × 15

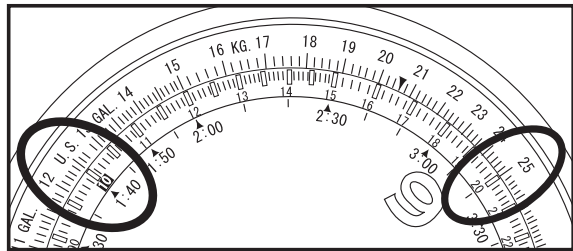
方法：外側スケールの20を、内側スケールの10に合わせます。内側スケールの15に対応する外側の30を読み取り、位取りを考えて、300を求めます。このスケールでは、位取りまでは出ませんので、ご注意ください。



2. 割算の仕方

例 : $250 \div 20$

方法：外側スケールの25を、内側スケールの20に合わせます。内側スケールの10に対応する外側スケールの12.5を読み取り、位取りを考えて、12.5を求めます。

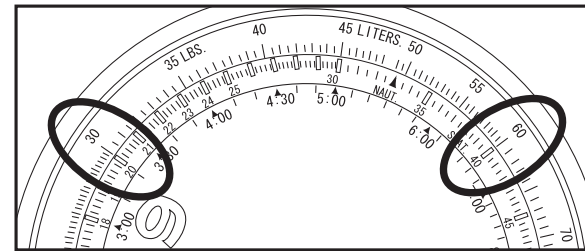


3. 比例の見方

例 : $30/20 = 60/x$

方法：内側スケールの20に、外側スケールの30を合わせます。

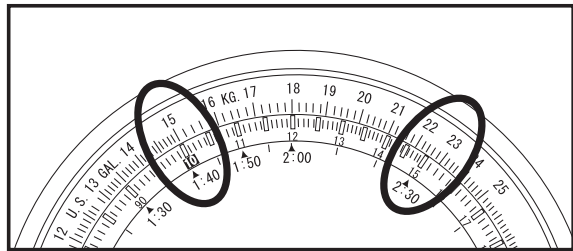
この時、外側スケールの60に対応する内側スケールの40を読み取ります。また、このスケール上の全ての位置で、外側対内側の比は、 $30 : 20$ になっています。



4. 平方根の求め方

例 : 225 の平方根は

方法 : 外側スケールの 22.5 に対応する、内側スケール上の目盛りと、内側スケール 10 に対応する外側スケール上の目盛りが等しくなる点をスケールをずらしながら、15 を求めます。



18. お取り扱いに当たって

⚠ 警告 防水性能について

- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10 / 20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

- 時計の文字板及び裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。

| 名称 | 表示 | | 仕様 | 使用例 | | | | |
|-------------|------------------------------|--|------------------|---------------------|---------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| | 文字板又は裏蓋 | | | 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など) | 水仕事や、一般水泳に使用。 | スキンドайビング、マリンスポーツに使用。 | 空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。 | 水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。 |
| 日常生活用防水時計 | WATER RESIST (ANT) | | 3気圧防水 | ○ | × | × | × | × |
| 日常生活用強化防水時計 | WATER RESIST (ANT) 5 bar | | 5気圧防水 | ○ | ○ | × | × | × |
| 日常生活用強化防水時計 | WATER RESIST (ANT) 10/20 bar | | 10気圧防水 20気圧防水 | ○ | ○ | ○ | × | × |

注意

- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、ボタンなど)が外れる危険があります。

注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バック等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は

1. 金属、皮革アレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
 - バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

<時計のお手入れ方法>

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

<ナチュライト付きの場合>

- 「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。
ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

<温度について>

- -10℃～+60℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

<磁気について>

- 磁石には近づけないでください。磁気健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると時刻がずれます。この場合は磁気から離して基準位置の確認を行い時刻修正をしてください。

<静電気について>

- クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示がずれることがありますのでご注意ください。

<ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保管について>

- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。

19. 保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご購入・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

<定期点検(有償)について>

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度、点検(有償)を行ってください。

防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。

部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

<修理について>

時計の品質を維持するためにこの時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。

修理等の際は最寄りの弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

<その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口でご相談ください。

20. 製品仕様

1. 機種：E60※
2. 型式：アナログソーラーパワーウォッチ
3. 時間精度：非受信時(電波を受信していない時)
平均月差±15秒(常温+5℃～+35℃携帯時)
4. 作動温度範囲：-10℃～+60℃
5. 表示機能：●時刻：時、分、秒
6. 付加機能：●電波受信機能(定時受信、強制受信、復活自動受信)
●受信局自動選択機能(日本標準電波専用)
●受信準備表示機能(RX)
●受信レベル表示機能(H, M, L)
●受信結果確認機能(H, M, L, NO)
●カレンダー機能
●ローカルタイム機能
●アラーム機能(24時間制アラーム)

- 基準位置確認機能
 - 3都市(ニューヨーク、パリ、ロンドン)時刻表示機能
 - 光発電機能
 - パワーセーブ機能
 - 充電警告機能
 - 過充電防止機能
7. 持続時間：●フル充電後、充電しないで時計が停止するまで
：約1年(パワーセーブが作動している時)
：約6ヶ月(パワーセーブが作動しない時)
●充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで：約4日
(持続時間は使用条件によって異なります。)
 8. 使用電池：二次電池 1個

* 製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。